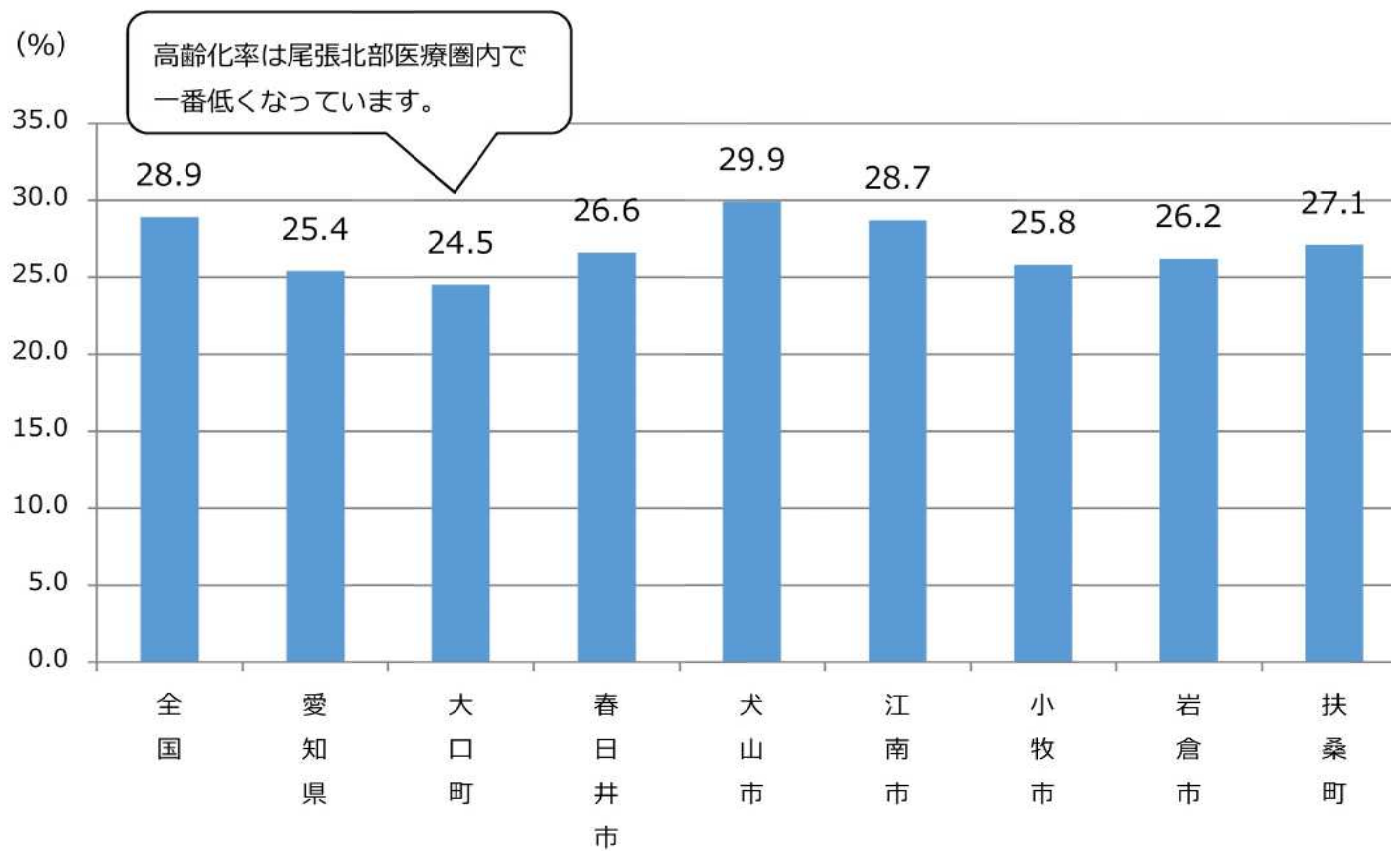


見える化システムから見た大口町の介護保険運営状況

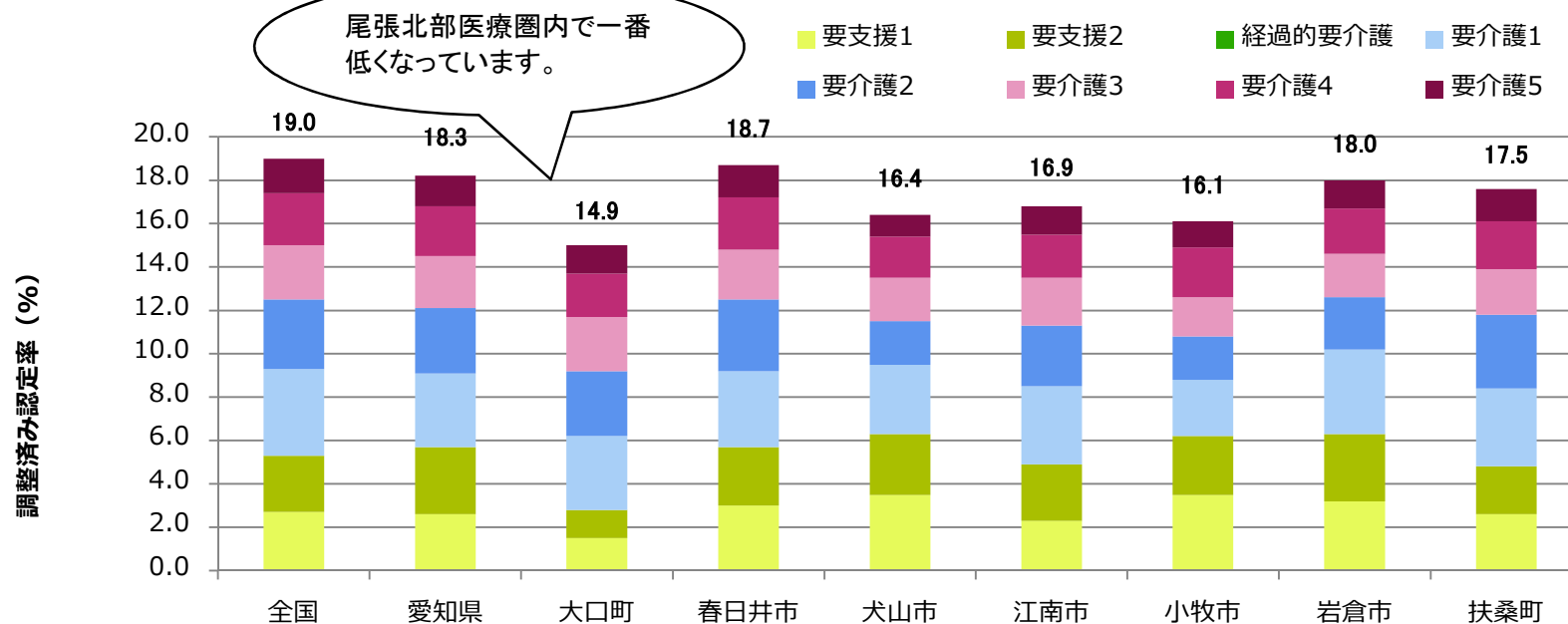
高齢化率の状況（令和2年(2020年)）



(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

調整済み認定率（要介護度別）（令和4年(2022年)）

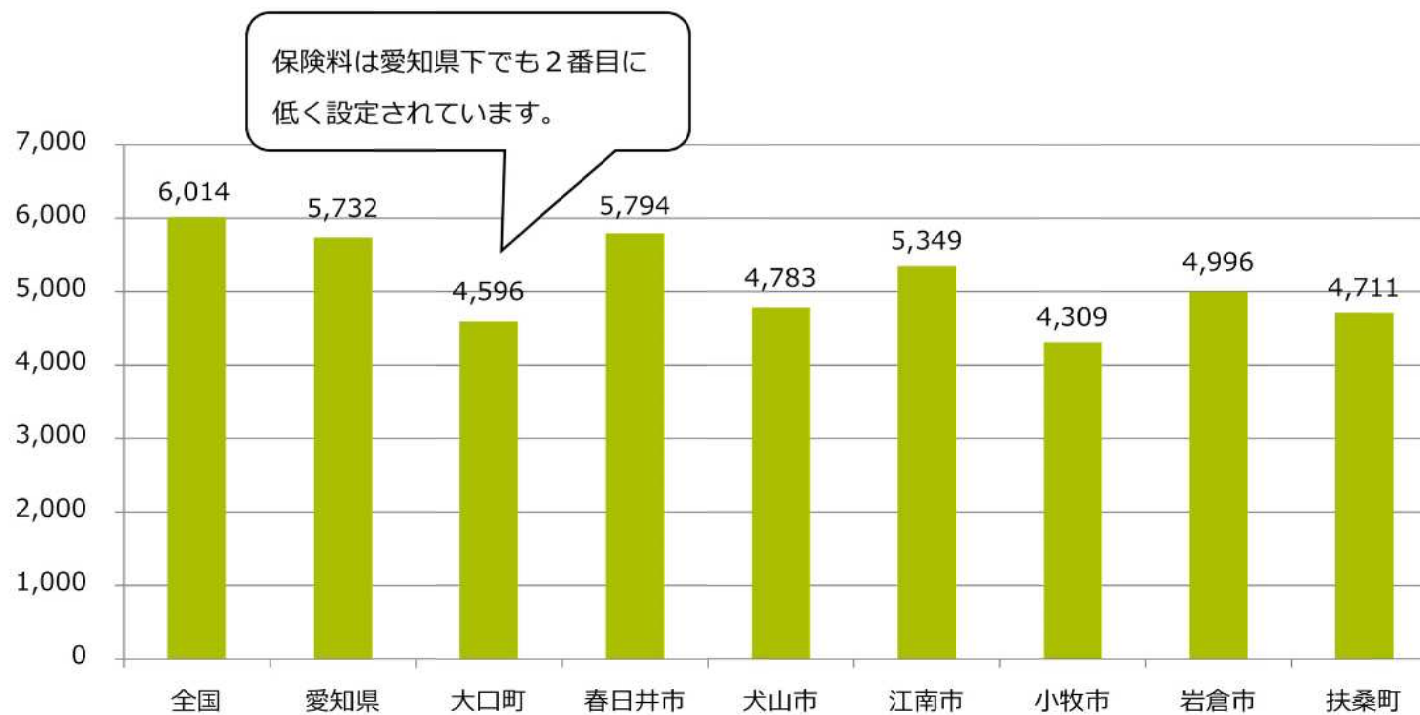


(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※「調整済み認定率」とは、第1号被保険者の性・年齢構成が、どの地域も全国平均やある地域の一時点と同様となるように性・年齢調整を行った指標です。性・年齢調整を行うことにより、第1号被保険者の性・年齢構成以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなります。

第8期介護保険料（月額）（2021年～2023年）

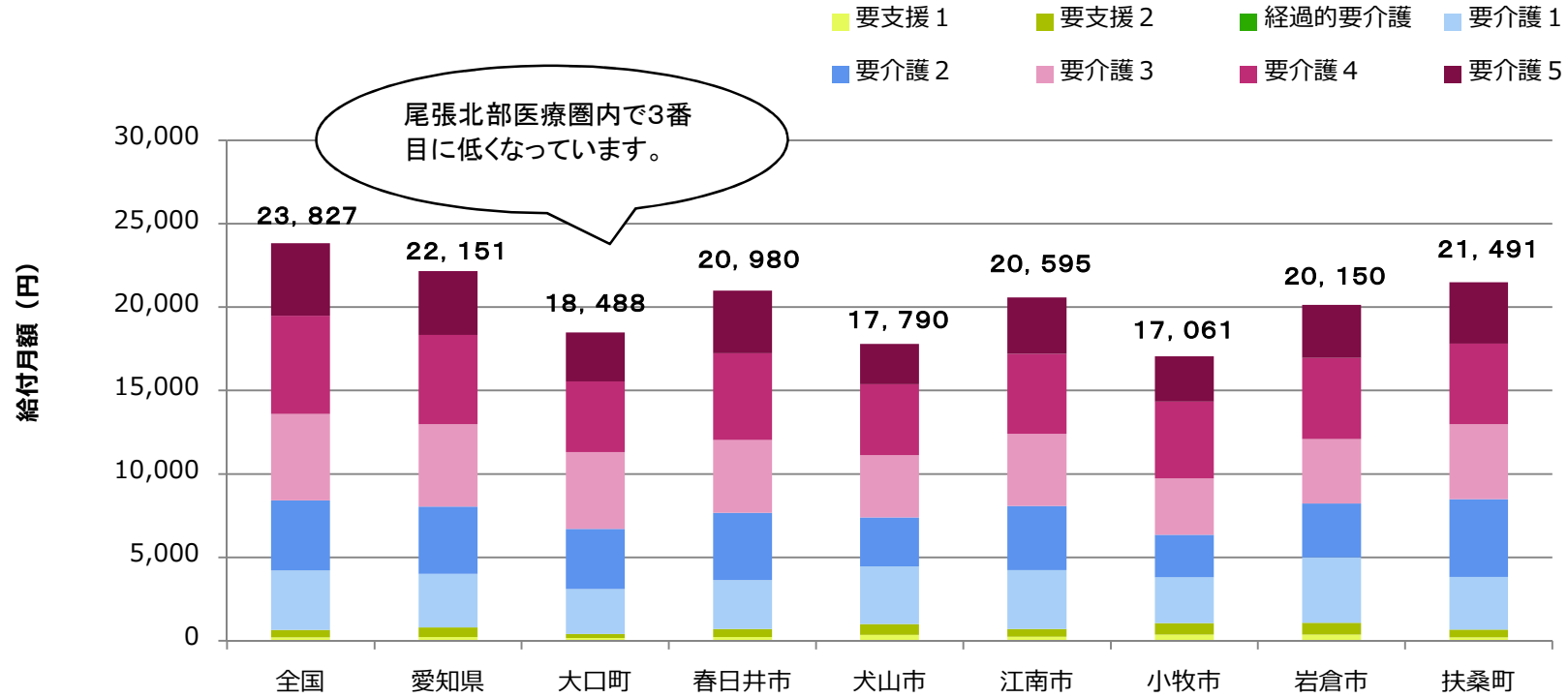


（時点）2021年～2023年

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元,2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および介護保険事業計画報告値

Hxx/Mと表示されている年度は、M月サービス提供分までの数値を用いて、当該年度の指標値を算出しています。

第1号被保険者1人あたり給付月額（令和5年(2023年)）



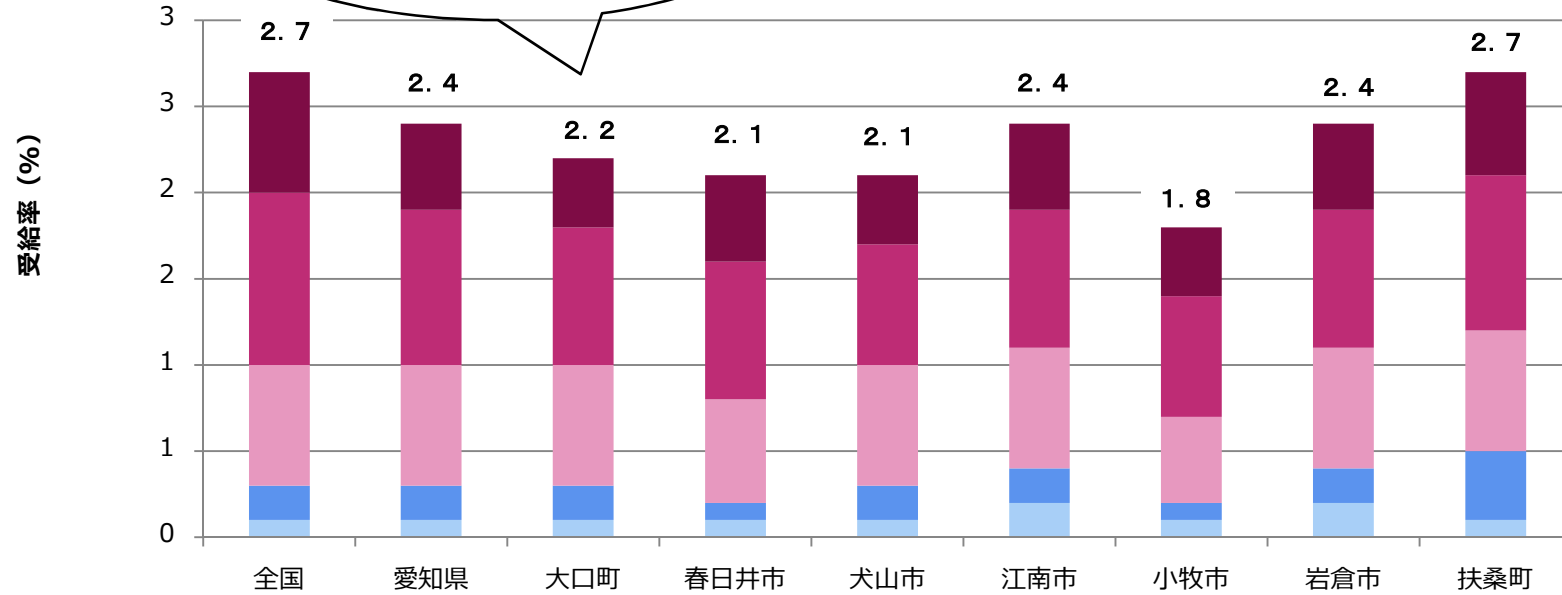
(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

受給率（施設サービス）（令和5年(2023年)）

受給率はどのサービスも比較的
低くなっています。

- 要支援 1
- 要支援 2
- 要介護 1
- 要介護 2
- 要介護 3
- 要介護 4
- 要介護 5

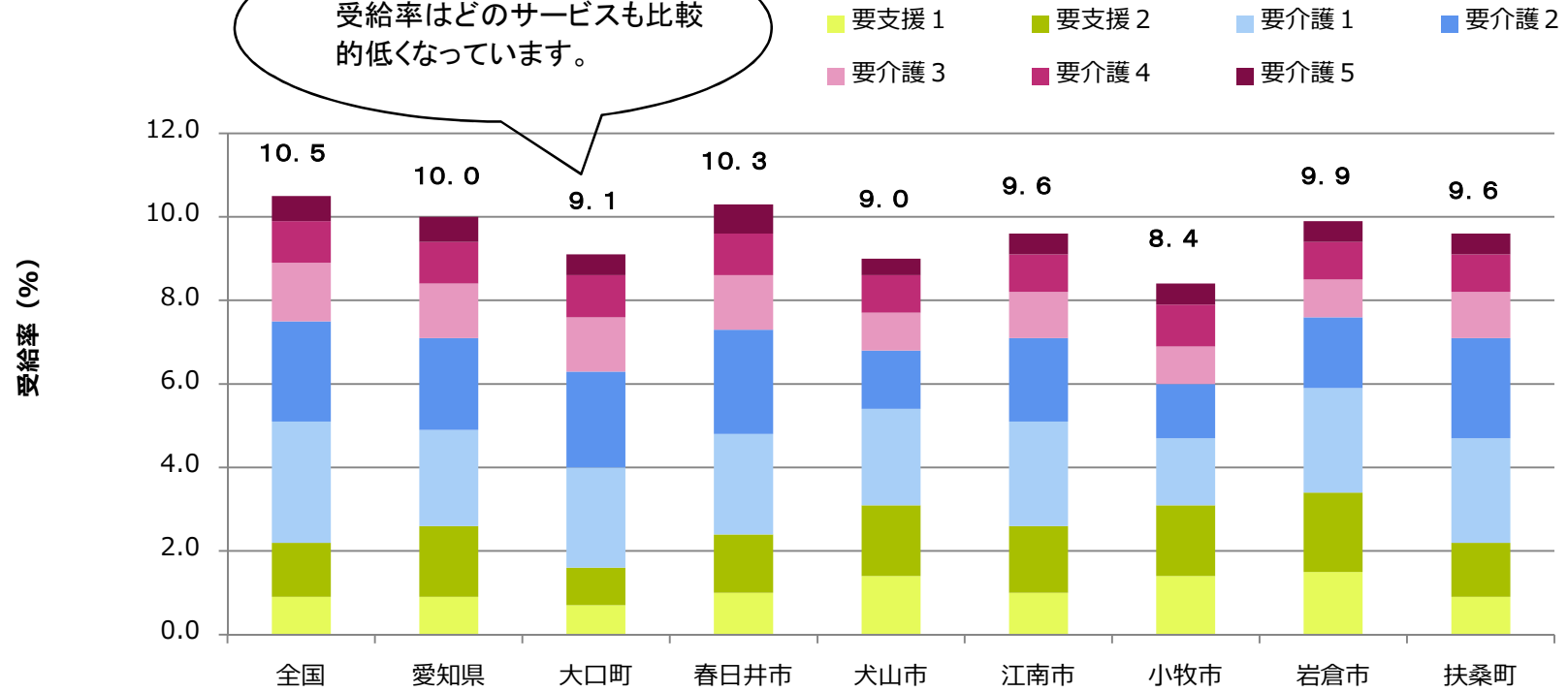


(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

受給率（在宅サービス）（令和5年(2023年)）

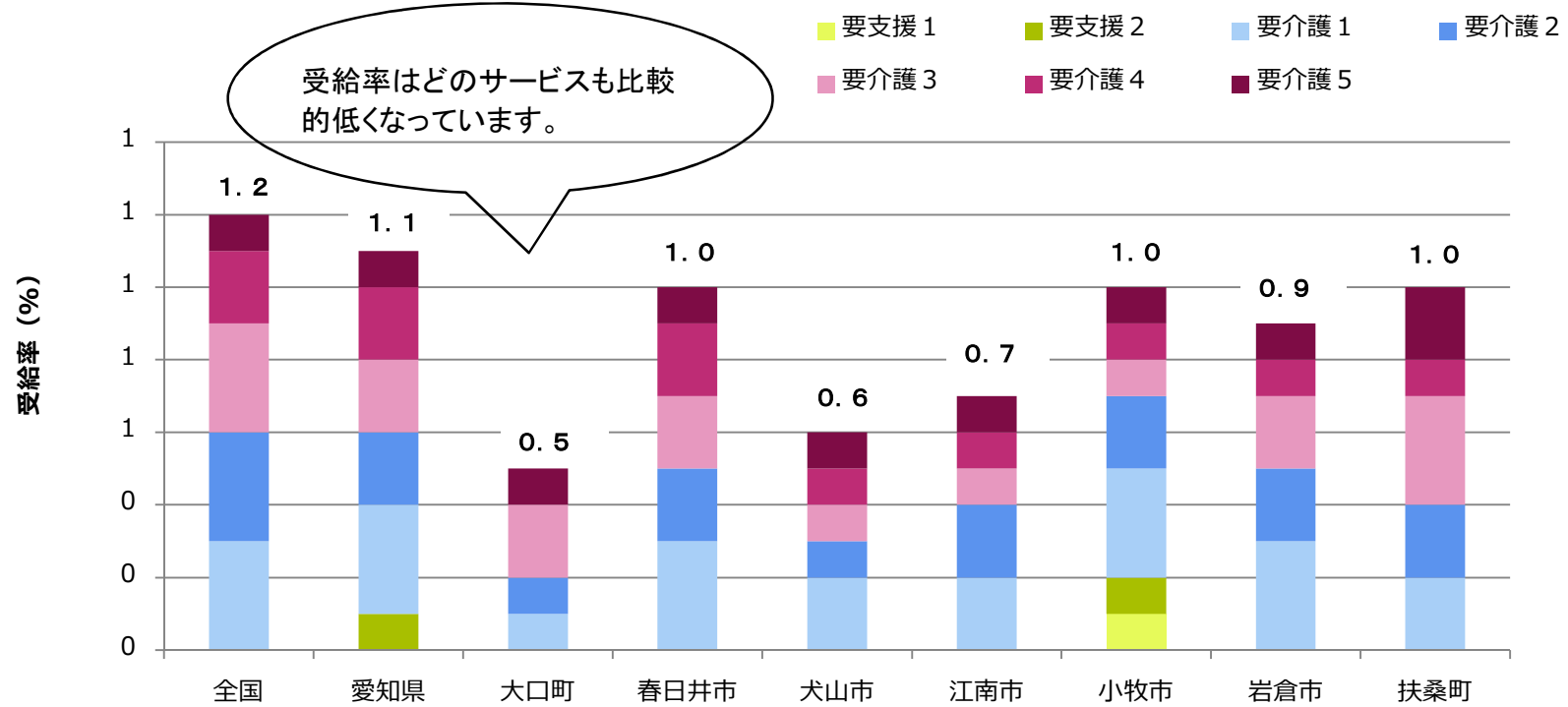
受給率はどのサービスも比較的
低くなっています。



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

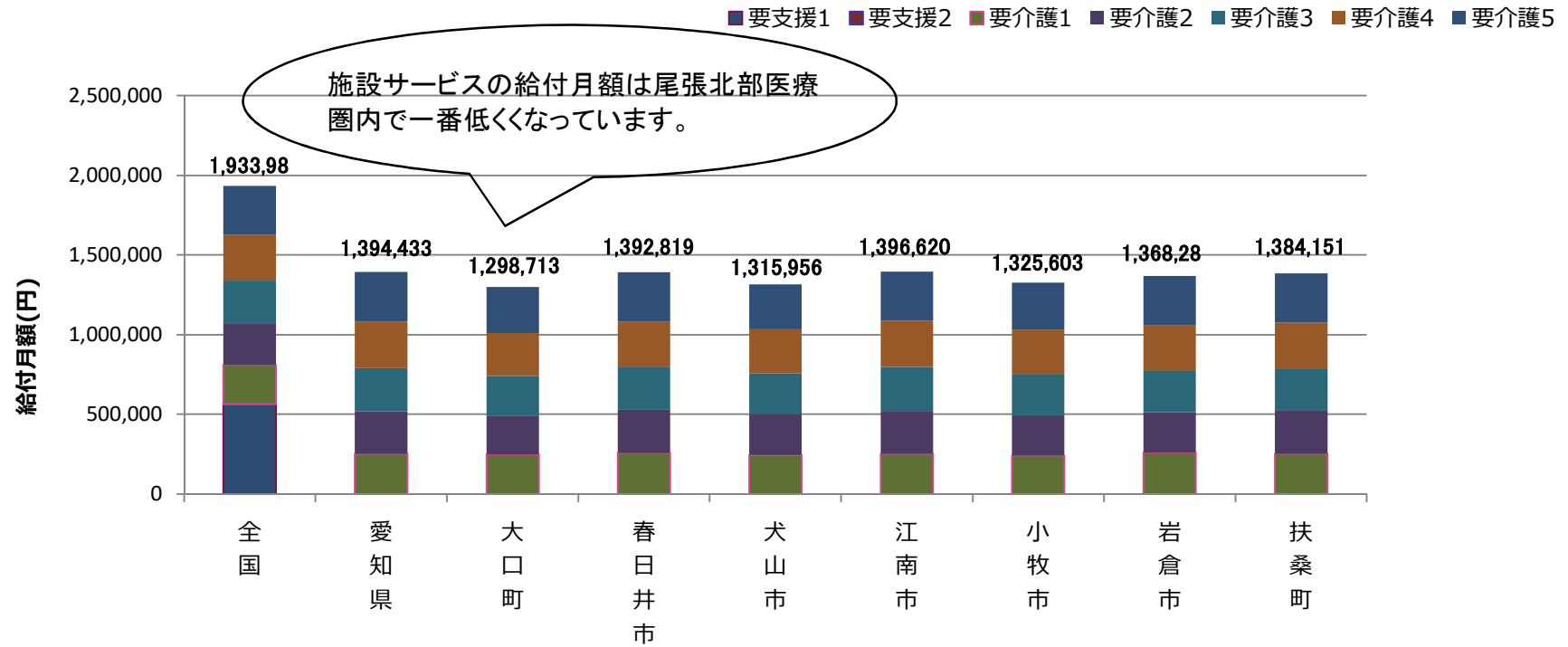
受給率（居住系サービス）（令和5年(2023年)）



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

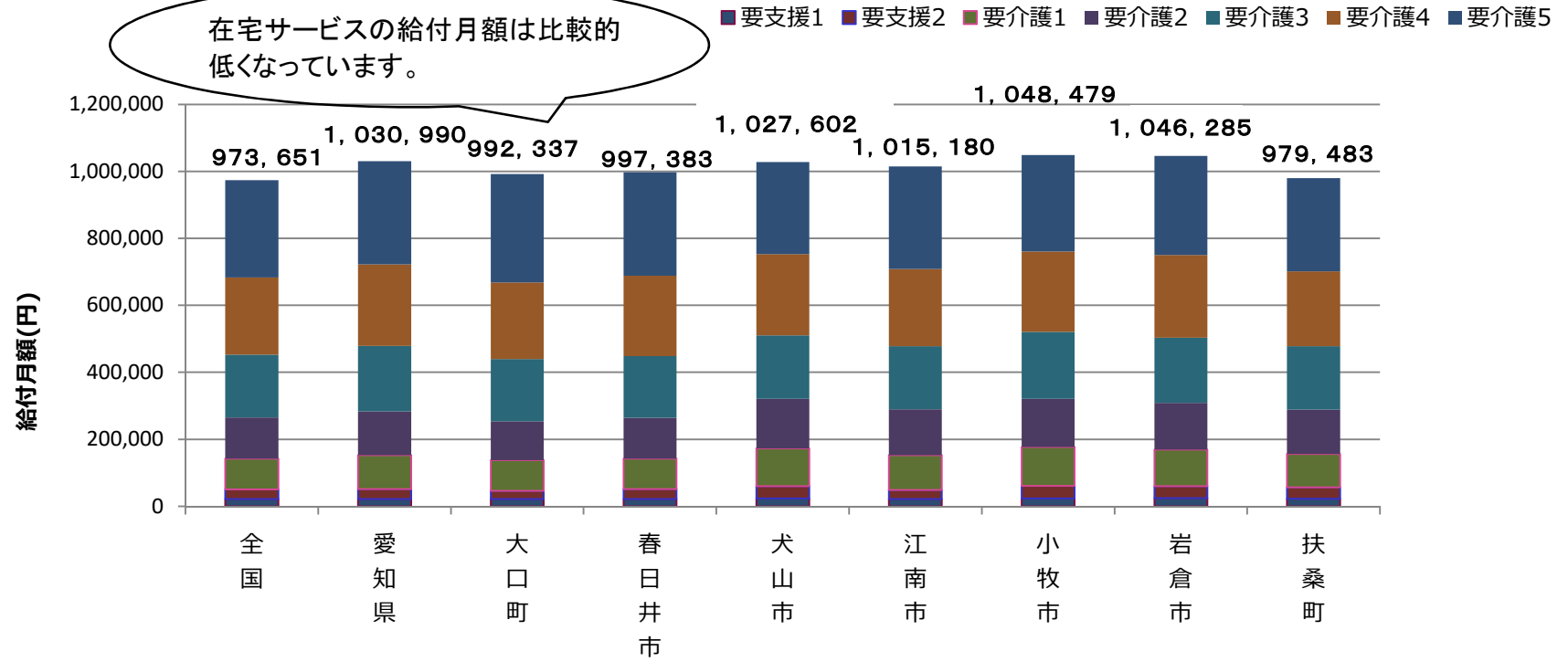
受給者1人あたり給付月額（施設サービス）（令和5年(2023年)）



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

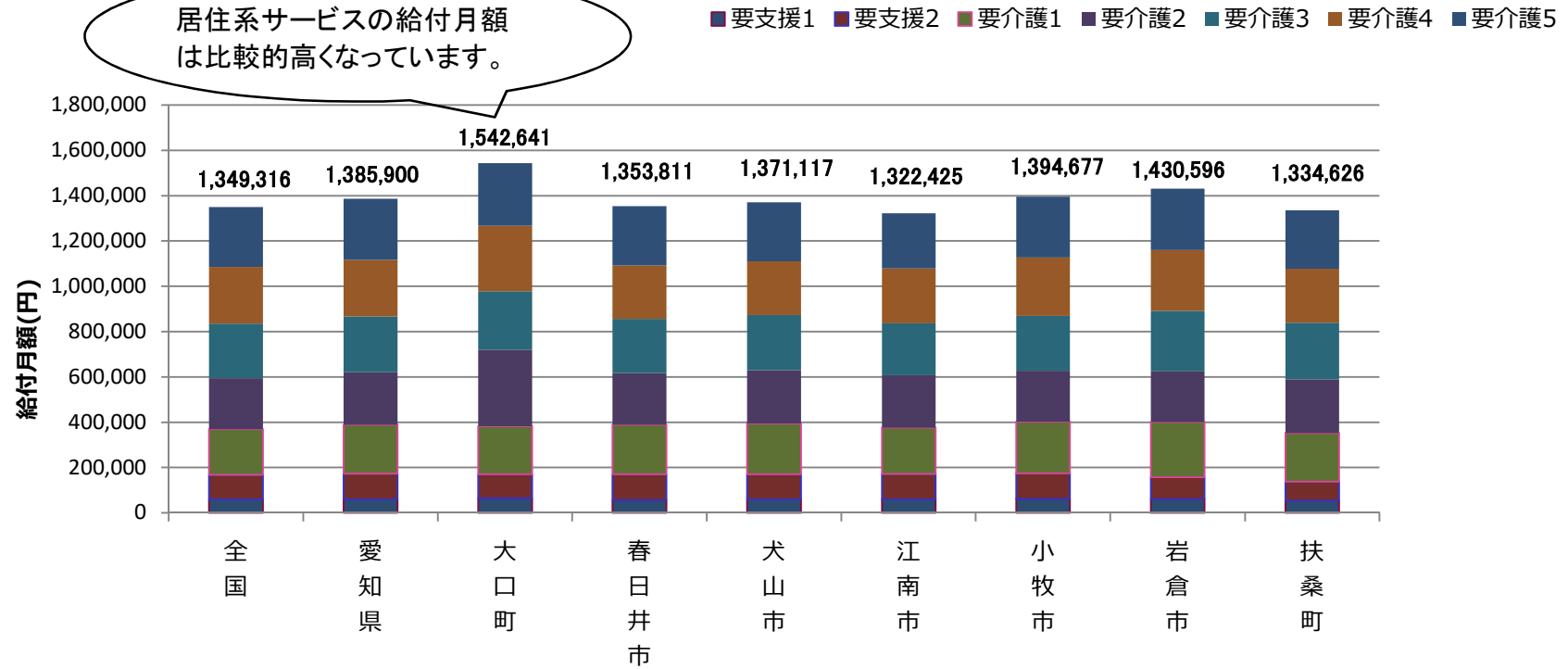
受給者1人あたり給付月額（在宅サービス）（令和5年(2023年)）



（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

受給者1人あたり給付月額（居住系サービス）（令和5年(2023年)）



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

●大口町の特徴

大口町は人口 24,000 人余りの町であり、若い世代を中心に今後しばらく緩やかに人口増が続くと想定されるが、2030 年をピークに減少に転じる見込みである。また、2020 年には後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回るなど、大口町においても高齢化が進んでいる。現状をふまえて、介護予防に積極的に取り組むとともに、地域住民団体においても介護予防や認知症などをテーマにした福祉講演会や講座が開催されている。また、認知症予防や介護予防につながると考えられる「地域活動」や「ボランティア活動」も活発に行われていることから、介護予防等に関する意識が高い町であると言える。

●全国その他の地域との比較

- ・高齢化率は 2020 年時点で 24.5%と愛知県（25.4%）及び全国平均（28.9%）と比較しても低い水準であるが、今後も比較的緩やかな伸び率で推移していく見込みである。
- ・大口町における調整済み認定率は 14.9%となっており、愛知県内 44 保険者では 42 番目、全国 1,571 保険者では 1,514 番目と低い水準になっている。（令和 5 年 7 月時点）
- ・大口町と尾張北医療圏内（春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、扶桑町）との比較においては、高齢化率、調整済み認定率、月額保険料、1 号被保険者 1 人あたりの給付月額、各サービスの受給率ともに比較的低い水準であるが、受給者 1 人あたりの給付月額（居住系サービス）は高くなっている。
- ・調整済み認定率において、尾張北部医療圏内で比較すると、大口町は要支援認定率が低い傾向にある。
- ・介護保険費用額においては、第 1 号被保険者 1 人月額の費用額が令和元年度以降、急激な増加傾向にある。なお、愛知県内 44 保険者では 38 番目、全国 1,571 保険者では 1,468 番目と非常に低い水準である。（令和 5 年 5 月現在）

●要因の分析

- ・認定率が低い要因として、本町がこれまで取り組んできた介護予防事業が成果をあげていると考えられる。65 歳以上の

高齢者を対象に健康増進と介護予防を目的に、月 10 回まで 1 回 100 円で温水プールやトレーニングセンターを利用できる「いきいきカード」の発行や、早い時期から地域住民とともに健康づくりや介護予防教室、いきいき 100 歳体操などの普及に取り組んできた。

- ・給付実績の伸び率の要因として、在宅サービスの費用額の伸び率が高くなっている。利用者やその家族の多様化する介護サービスの需要が高くなっていることが原因であると考えられるが、これは本人が住み慣れた自宅や場所で、家族や介護事業者によるサポートを受けながら生活していることにも繋がっていると考えられる。

●住民や関係者と共通理解を持つ取組み

大口町ホームページに現状を掲載するとともに、地域住民を対象に出前講座を実施している。